

令和2年度の新規就農者数について

令和2年10月21日
福島県農業担い手課

福島県では、毎年、新規就農者数について調査しており、令和2年度の調査結果（対象期間：令和元年5月2日から令和2年5月1日）がまとまりましたので、お知らせします。

1 結果の概要

令和2年度の新規就農者数は204人となり、6年連続で200人を超えた。

- (1) 就農区分別では新規参入が半数を超え、就農形態別では自営就農が半数を超えた。
- (2) 地方別では、県北、県中、会津の順に多かった。
- (3) 男女別では男性141人、女性63人で、女性の割合は3割であった。
- (4) 年齢別では、45歳未満の割合が8割であった。

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規就農者数(人)	182	142	224	166	212	238	211	219	212	204

2 調査結果

- (1) 就農区分では、新規学卒は32人、Uターンは48人、新規参入は124人であった。

就農区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規学卒	21	25	26	23	42	26	31	34	42	32
Uターン	104	62	66	56	75	102	70	57	53	48
新規参入	57	55	132	87	95	110	110	128	117	124

- (2) 就農形態では、自営就農者数は、震災後大きく減少した後回復傾向にあり、平成28年度から100人を超え、今年度は115人となった。
農業法人等の雇用による就農者数は89人であった。

就農形態	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自営就農	127	84	87	87	93	123	122	104	104	115
農業法人等の雇用による就農	55	58	137	79	119	115	89	115	108	89

- (3) 地域別では県北、県中、会津の順に多く、昨年度より、県北、いわきで増加した。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
H25	47	45	22	71	11	17	11	224
H26	31	29	23	59	10	9	5	166
H27	35	36	42	50	22	3	24	212
H28	70	56	17	47	13	7	28	238
H29	45	52	18	52	14	13	17	211
H30	55	37	20	51	12	13	31	219
R1	38	40	19	39	15	39	22	212
R2	70	33	13	31	14	17	26	204

(4) 女性の新規就農者は63人で、男女の割合は男性69%、女性31%となった。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
男性	151	111	170	138	157	177	157	162	166	141
女性	31	31	54	28	55	61	54	57	46	63
女性の割合(%)	17	22	24	17	26	26	26	26	22	31

(5) 年齢別では、45歳未満が166人で全体の81%を占めた。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
45歳未満	160	127	177	144	187	198	190	199	173	166
45歳以上	22	15	47	22	25	40	21	20	39	38
45歳未満の割合(%)	88	89	79	87	88	83	90	91	82	81

(6) 自営就農における部門別の新規就農者数は、野菜を主部門とする者が最も多く、野菜、水稲、果樹、その他で前年より増加した。
野菜52人、水稲24人、果樹18人、花き9人、畜産4人、その他8人となっている。

(参 考)

1 調査方法

市町村・農業委員会・農業協同組合・農業会議等と連携して実施した。

2 調査対象

令和元年5月2日から令和2年5月1日までの1年間に就農した65歳未満で、年間150日以上農業に従事することが見込まれることが確実な者。
(ただし、他産業を定年退職後に就農した者は除く)

3 就農区分

新規学卒：本県の農家の出身者で、卒業と同時に就農した者及び卒業後引き続き行っていた農業研修終了後すぐに就農した者

Uターン：本県の農家の出身者で、他産業を離職して就農した者

新規参入：本県の農家以外の出身者で、就農した者

4 調査開始年度

平成11年度から現在の調査基準で調査を行っている。

問い合わせ先：農林水産部農業担い手課
課長 小久保 仁子 直通024-521-7343 (内線3157)